



# 始めよう+ガーデニング 盆栽の4つの秘けつ

指導：園芸研究家 中道徹三郎さん  
製作：ガーデニングショップ金久 神藤知治さん  
大阪府泉佐野市日根野2545  
0724-67-2413  
<http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka/>

盆栽の極意はいかに自然の姿を映し出すか。杉ならばまっすぐに、風に耐える松ならば幹や枝がねじ曲がり……と、光や風の影響も考えて作りま。長い年月を経たような植物の姿が鉢植えに表現される様はまさに不思議。1つの植物の四季折々の変化が楽しめる

「盆栽はおじいちゃんの趣味」なんて敬遠していませんか。実は植物の自然な姿を人工的に縮小して再現する究極のガーデニング技術。園芸が盛んな英国でも根強い人気があり、今や「BONSAI」は世界共通語なのです。

◀ヒュウガミズキ、ヒナソウ、ハゴロモキンポウゲ、ヒロードセキショウ、ヒメヨメナ

ことも魅力です。  
ここ数年、人気の豆盆栽は植物の高さが10センチ前後と室内に飾るにも適しています。水やりなどを通して植物と会話し、ペットを慈しむように育てましょう。盆栽を小さいまま維持するには4つの秘けつがあります。

**✦ 小さい植木鉢に**  
植物の大きさは根の量に比例すると言われます。いかに小さい鉢でうまく育てるかが決め手です。

**✦ 毎年、植え替えを**

根が伸びるスペースが少ないため、新しい元気な根を出して新陳代謝を活性化する必要があります。植物にもよりますが、毎年、新しい根が出る直前に植え替えます。

**✦ 水はけの良い土と毎日の水やり**

植物の根が最も好むのはたっぷりの水分と空気が。赤玉土、桐生砂、粗い砂などの水はけの良い土を使います。暖かい時期に毎日、水をやっても根腐れしない用土を選ぶことが大切です。

**✦ 葉刈り(芽摘み)**

春一番に出る芽は太くて長い場合が多い。春に出た芽を摘んだり、葉刈りを行ったりして、2番目、3番目の芽を出します。これにより小枝が出て枝ぶりが良くなり、葉も小さくなります。

## 豆盆栽



植物で盆栽にできないものはありません。□のような寄せ植えは特に若い女性に好まれています。難しいせん定が不要で世話も簡単。入門編としてもお勧めです。

- 1 左：長寿梅、フィリハタザオ。右：桜、タツナミソウ。小物をあしらうとさらに愛しくなる
- 2 シンパク。せん定を行うと美しく変身(写真前列)
- 3 ムラサキシキブ。いかにも盆栽らしい風格がある



## プレゼント



愛らしくキュッとまとまる姿がまるで花束のようなサフィニアブーケに新色が登場しました。4つの新色の中から、春らしい色合いの「さくら」を3ポットセットで10人の方に。  
はがきにて、住所、電話、氏名、年齢を書き、3月末までに〒530-8533(住所不要) 読売ライフ「3月号ガーデニング」係へ。商品提供=サントリーフラワーズ(株) 03-5210-3885 <http://suntory.jp/FLOWER/>

※「モダン盆栽教室」が3月16日(木) 10:30~12:00に「金久」で開かれます。受講料は3000円程度(材料費込み)。問い合わせは「金久」まで。